

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部



この地で刻んだ100年の歴史 「賛育会は創立100周年を迎えました」

1918年(大正7年)本所区太平町の地に賛育会が誕生してから、100年の時が流れました。

妊婦乳児相談所と託児事業で始まった活動は、翌年には「賛育会本所産院」となり、やがて「賛育会病院」へと育っていきましました。賛育会を必要としてくださる方々に寄り添っていききたい…。そんな想いを抱いて活動を続けてきました。しかし、活動していく中で関東大震災と東京大空襲で二度にわたり拠点を焼失してしまいます。失意の中、一度は解散宣言まで出した賛育会でしたが、それでも必要としてくださる人がいる以上は…。

と、1946年(昭和21年)に焼けた病院の一部を囲って診療を再開しました。今では、主だった施設だけでなく東京都・長野県・静岡県で、2つの病院、9つの特別養護老人ホーム、2つの保育園、1つの介護老人保健施設などを運営しています。

墨田区内では、自前施設である東京清風園の他、たちばなホームとはなみずきホーム、そしてそれぞれに付随するデイスサービス、ショートステイ、高齢者支援総合センター、高齢者みまもり相談室などを墨田区の指定管理者として運営し、医療と高齢者福祉の領域で、区民の皆さまにご利用いただいています。

お困りごとがあれば

にご相談ください

賛育会病院は、NICU(新生児集中治療室)を備えた周産期の病院としてお覚えただいていて方も多いかと思いますが、もちろん、内科、外科、小児科などの診療科もあります。また、高齢者福祉の面では1964年に町田市に最初の特養を開設し、草分け的な働きをしています。介護の問題は日常のなかで

はあまり馴染みがないものですが、いざ必要になった時にはどうしたらよいか分からないものです。病気のことで、介護のこと、ご本人がお困りのこと、ご家族がお困りのことなど、どうぞお気軽にご相談ください。



病気のことで、介護のこと

お困りでしたらお気軽にご連絡ください

賛育会病院	03-3622-9191
東京清風園居宅介護支援事業所	03-6861-8772
はなみずき高齢者支援総合センター	03-3610-6541
はなみずき高齢者みまもり相談室	03-3614-1465
たちばな高齢者支援総合センター	03-3617-6511
文花高齢者みまもり相談室	03-3614-6511

「新しい年を迎えられる事の幸せ」

前夜から勤務を続けた夜勤者の顔を元旦の光が照らします。施設のご利用者にもいつものように朝が訪れます。いつものように朝を迎え、新しい年を迎えられる事の喜びと幸せ。特別養護老人ホームは、ご自宅での生活が困難な方がご家族から離れて暮らしておられる施設です。特別な正月行事よりも「もしも家にいたらこんな正月を迎えられるのになあ」という、とても当たり前の正月を過ごしていただけるように心を砕きます。心ばかりの祝膳をご用意します。ご家族の方もお見えになります。施設では、当たり前の正月の、当たり前の喜びをご家族で味わっていただくことを大切にします。



「中年子育て奮闘記」その44 鈴谷 明

「保育園での集団生活⑨」

新しい年度に変わると保育園のクラスもかわります。それと同時に、保護者会の役員も交代しなければなりません。結局、私は保護者会の会長職を引き受けることになりましたが、選出方法に若干の違和感が残りまし

た。

年度末に、担当クラスの保育士さんから、この1年で子供たちどんな成長が見られたかを私たち保護者にお話ししていただく機会があります。その後で、保護者の皆さんだけがお部屋に残り、役員の選出が始まります。まず、役職名と役割の紹介があります。そして、希望者を募ります。そこまでは問題はありません。でも、その後で困ったことが起きました。「誰も手を挙げない」のです。

しかし、私自身は「手を挙げない」ことは大した問題ではないと思っています。「人前で話すのは苦手だな」「毎日仕事をしながら続けられるかな」「安易に引き受けてしまって、失敗

してしまったら、みんなに迷惑がかかってしまうかもしれない」等々、責任感のある方なら、誰でも躊躇してしまうと思うからです。

だからと言って、「大丈夫、簡単だから」「心配しないで、やることなんかほとんど無いんだから」といった感じで、漠然とした、しかもやる気を削いで

しまうような言葉で役割を勧められたとしたらどうでしょうか。誰も「よし、私が引き受けよう!」などと思わないでしよう。そこが問題ではないでしょうか。

さらに、「保護者会」そのものの存在意義を、わかりやすく説明してくださる方がいないのも残念に感じました。極論してしまえば、あってもなくてもいい存在に、わざわざ忙しい仕事をやりくりしたり、家族と一緒に

に過ごす時間を削ったりする努力をしたくはありません。「ああ、保護者会って、こんな大切なことをやっているんだあ」とか「こんな楽しい行事だったら、自分も参加して作ってみたいな」という気持ちにさせるための説得が本当は必要なんだと思います。

*保育制度は、自治体によって異なる場合があります。



手軽にクッキング 99 <1月の汁>

「のっぺ汁」

<材料> 4人分 (1人分 115kcal)

大根	200g
人参	50g
里芋	200g
生揚げ	100g
豚小間肉	50g
ごま油	小さじ1
だし汁	600cc
酒	大さじ1
しょう油	小さじ1
塩	小さじ1弱
片栗粉	小さじ2

<作り方>

1. 大根と人参は皮をむき、いちょう切りする
2. 里芋は皮をむき、一口大切りにし、水洗いしてから下ゆでし、ざるにあげておく
3. 生揚げは熱湯をかけ油抜きし、縦半分に切ってから1cmの薄切りにする
4. 鍋にごま油を敷き、豚小間肉をさっと炒める
5. 4にだし汁を加え、1の野菜を加えて煮る
6. 5の野菜が煮えたら、2の里芋と3の生揚げを加えて煮込み、調味料を加える
7. 味を整えてから、水溶き片栗粉でとろみをつける

※具材の多い汁物はいかがですか。温かい食事で寒さを乗り切ってください。

(協力：食育支援部)

(3) 元気で100歳!! 墨田で生きよう!! 定年後の大きな生きがい発見!!

エッセイ No.156

「隅田七福神今昔(その2)」林 康秀

今回は「長命寺」までお参りしたが、今回は残りの3か所を巡りたいと思う。「長命寺」から先、墨堤通りに沿って15分ほどで「向島百花園」に至る。ここは江戸の町民文化を代表する文化人たちが集まる場所だったようだが、何故か可愛らしい福祿寿尊堂があり、傍らに大きな瓢箪が幾つもぶら下がっていた。「福祿寿」は本草※の神様として信仰されていたそうである。百花園ならでは、であろうか。

※本草…中国の伝統医学における、植物を主とする薬物に関する学問



(福祿寿尊堂)

百花園の近くに「白髭神社」がある。この神社の祭神である猿田彦命は道案内の守り神ということから、お客を案内し千客万来・

商売繁盛の信仰が生まれたそうだが、その一方で、隅田七福神の「寿老神」がいっしょの神社としても親しまれている。一般的に七福神では「寿老人」と言うが、墨田七福神に限り「寿老神」と記しており、隅田川沿岸の七福神を選び出した時になかなか見つからなかった寿老人を、白い髭の長寿の神様として白鬚大明神にあて「神」とし、「寿老神」としたそうである。



(白髭神社)

最後の「毘沙門天」が祀られている「多聞寺」までは、白鬚神社からはちょっと距離がある。1500mほどであろうか。墨堤通

りをひたすら北進し、荒川の堤に突き当たろうかという所にある。

なかなか瀟洒な作りで、特に入り口の茅葺の山門が実に良い風情である。この辺りは少し西に行けば隅田川が大きく蛇行しており、江戸時代から鐘ヶ淵と呼ばれていた。当時は今と違い相当な草深き田舎であつたらしく、剣客の小兵衛※が40歳以上も年下のお春を後妻に迎え、隠宅を設けたのがこの辺りらしい。

※剣客の小兵衛…小説「剣客商売」の登場人物(詳しくはかわら版10月号をご覧ください)

「多聞寺」のご本尊の「毘沙門天」は弘法大師の作と言われている。昔、村人達は本堂の前に住む狸の悪戯に悩んでいたが、毘沙門天門下の禅尼師童子が狸を懲らしめ、その村人たちを救ったという伝説が伝わっている。「毘沙門天」は「多聞天」とも呼ばれ、「持国天」、「増長天」、「広目天」とともに四天王の一体に数えられたりもしている。寺号の元でもあらうか。また、先述の山門はなかなか趣があるが、横の看板によると、慶安2年(1649年)に建立されたが、享保3年(1718年)に焼失し、その後再建され

たようである。

「多聞寺」を後にし、10分ほどで東武線の鐘ヶ淵駅より帰宅の途についた。



(多聞寺山門)

「シニア人材バンク」

登録者募集中

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか?

平成30年度 第6回 生きがい講座

終活カウンセラーに聞く、 人生のしまい方講座



エンディングノートやお墓のこと・・・終活の秘訣!

【日時】平成31年2月20日(水) 午後1:30~3:30

【会場】すみだ女性センターホール(押上2-12-7-111号)

【費用】無料 【定員】40名

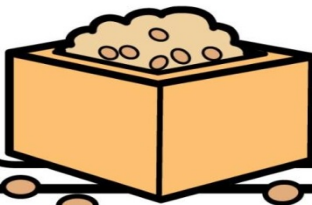
【対象】おおむね55歳以上の方



【講師プロフィール：武藤 頼胡^{むとう よりこ}】

- 一般社団法人終活カウンセラー協会 代表理事
 - リンテアライン株式会社 代表取締役社長
 - 明海大学ホスピタリティツーリズム学科 外部講師
 - 「終活カウンセラー」の生みの親であり、テレビ、ラジオ、新聞や雑誌など様々なメディアの取材を受けるかたわら終活フェアやセミナーの講師として全国を飛び回る人気の終活カウンセラー。
- 8月に初の著書となる「元気なうちから始める! こじらせない『死に支度』」(主婦と生活社)を出版。

■申込み・問合せ：NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 墨田区東向島1-17-8-2F
電話：03-5631-2577 / Fax:03-5631-2578
(受付時間：平日午前10時~午後4時)



■企画・運営：NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
■主 催：墨田区



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(受付時間：平日午前10時~午後4時)
メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jpn.org/>

謹賀新年
新年を迎え、新たな気持ちで一年のスタートを踏み出した事と思います。
新しい年号の発表、東京オリンピック、大阪万博など、大きなイベントがたくさん待っています。